

## 2017年1月22日 茨木市議会議員選挙投開票!!

自民党茨木市議員団としましては、現在の議会定数30議席を1万人に1議席という根拠で28議席に削減すべきであると考えております。よって、12月議会におきまして、議席定数削減案を提出予定です。

### 自由民主党茨木市支部役員に、今後の方針と施策に関して聞きました!



未来都市茨木のために、関西の玄関口となるべき中心市街地を活性化する為、JR茨木駅から阪急茨木市駅周辺の再開発に合わせ、文化芸術を漂わせる教育文化都市として環境の整った未来都市茨木を計画してまいります。

**上田 よしお**

茨木市議会議員  
自民党茨木市支部長



日々、街中での皆様の声を市政の中に取り込むべく相談・説明など多岐にわたり活動させていただいております。また、市政の未来創造についても議会会派所属議員はじめ全議員一丸となり設計図を作って参ります。

**下野 いわお**

茨木市議会議員  
自民党茨木市副支部長



「茨木市人口ビジョン」によると、本市の人口は2040年に25万6千人、2060年には22万人まで落ち込み、その後も引き続き人口が減り続けるとのことです。社会保障や都市政策など、これまでとは全く違う発想で議論を重ね施策を提案して参ります。

**上田 ミツオ**

茨木市議会議員  
自民党茨木市幹事長



私は、良識・行政経験を生かした実行力で「ひとにやさしく、子や孫の世代も見据えた活気溢れるまちづくり」に取り組みます。さらに、2次救急の充実・市民会館跡地の有効活用・地産地消を含めた都市近郊型農業などの推進発展につとめてまいります。

**中内 清孝**

元茨木市議会議員  
自民党茨木市副支部長



生まれ育ち、勤務した茨木市のために私なりの経験を活かし、住みよい茨木市を創造していきます。政策の柱は、将来を担う子どもたちに最善の教育環境を整えること、生活弱者の立場に立った医療・福祉政策の実現です。

**中井 こうへい**

茨木市立元小学校教員  
自民党茨木市副広報部長



3児の父として、子ども会・PTAの活動を通して培った経験を活かして、茨木のまちが子育てにやさしい街に。そしてシニア世代の知恵をお借りし、地域の交流を深めながら、元気いっぱい街づくりを実現します!

**しきち 龍一**

会社経営者  
自民党茨木市広報部長



聴覚障害者である両親の下に生まれ、衆議院議員秘書の経験を生かし、前職の追手門学院では地域連携担当者として、茨木のまちづくりに参画・貢献してまいりました。“36歳”の若さを武器に、「茨木に矢をはなつ!」

**矢島 ひでかず**

元衆議院議員秘書  
自民党茨木市副広報部長

### 党员募集中!!

自民党に入党して、党员として自民党を支えてください。

- 入党資格
- ・わが党の綱領、主義、政策等に賛同される方
  - ・満18歳以上で日本国籍を有する方
  - ・他の政党の党籍を持たない方

入党に関するご質問は、裏面のうらべ走馬事務所まで。

# 平成28年9月定例会開会!!

平成28年9月定例会が9月27日より開会いたしました。  
本定例会は12月20日までの会期となっており、  
私は、現在、環境農林水産常任委員会に所属しておりますので、  
所属委員会にて下記の質問をさせて頂きましたのでご報告致します。  
大阪府議会議員 うらべ走馬



## 都市緑化に関する取り組みについて

昨年度の大阪府議会において森林環境税に関する条例が可決され、平成28年度より、府民お一人あたり300円を4年間ご負担いただいております。当初は500円をご負担いただき都市緑化も行うという計画でしたが、負担軽減などの理由の為、負担額を300円とし、都市緑化にこの予算は充当しないということとなりました。しかしながら、ヒートアイランド現象の緩和や府民の憩いの場作りのためにも、別途予算を確保し、都市緑化の充実を図ってほしいという府民の期待に応える取り組みをするように要望いたしました。

## 農業用井堰の改修・維持管理について

農業に関わる方が減少や高齢化する中、農業用井堰の維持管理や改修は年々困難な状況となっております。農業振興の観点からも、これら農業用井堰の改修・維持管理について府として支援していくべきであると問題提起をいたしました。また、浚渫の相談や問題が起こった際には環境農林水産部と河川を管理する都市整備部とが協力をして問題解決に協力してもらうように要望をいたしました。

## 遊休農地解消対策について

府内における遊休農地対策は平成20年度から10年間で650haの遊休農地の解消等を行うことを目標に取り組んでおり、平成27年度末までの8年間で、自己耕作の再開や、担い手への貸借等により、目標の約8割にあたる516haの解消等を進めてきております。しかしながら、遊休農地になってから解消の対策をするよりも、遊休農地になる前に対策をすることが重要となります。現在も、遊休農地解消対策区域では、今後5年間の耕作の意向等を記載する農地利用計画書を農家に提出いただいております。農空間保全委員会では、その計画書を踏まえた遊休農地の解消方策等について検討しているようですが、その指定区域は農空間保全地域の2割程度にとどまっており、残りの8割についても対策をしてもらうように要望いたしました。

## ダイオキシン問題について

豊能郡でのダイオキシン問題はメディアにも取り上げられ、府民のみなさんも関心の大きいところであります。そのダイオキシンの最終処分に関して、大阪府が提案した5つの方法のメリットとデメリットについて質問を行いました。また、先日の能勢町長選挙、豊能町長選挙で当選されました両町長は完全無害化処理をして最終処分を行うという意向を示しておりますので、府として技術的支援や国への働きかけ等最大限の協力をしてもらうことを要望いたしました。

## ナラ枯れ被害対策について

近年、コナラ、クヌギなどブナ科の広葉樹が枯れるナラ枯れと呼ばれる現象が全国で発生しています。とりわけ、大阪府、奈良県で被害が増加しているということですが、茨木市に関しては全国で1番被害面積が大きいということがわかりました。また被害の面積の拡大は平成26年度から27年度にかけて約7倍の約6,200立方メートルとなっております。ナラ枯れ枯死木の大量発生は、景観上の問題のみならず、倒木による交通遮断など、様々な影響が考えられ、早急に対策が必要と考えますので、府として市と情報共有を図るとともに財源を確保して早急な対応を要望いたしました。

## 家畜排泄物の適正管理について

都市化の進む大阪府において、畜産環境問題は畜産農家にとって存続に関わる喫緊の課題となっております。府内においても排泄物などの悪臭によるトラブル事案が発生しております。しかしながら、畜産農家の経営状況や高齢化などにより問題が解決できていない事例もでてきております。各市町村と府が連携協力しながら、畜産農家に技術指導や助言を行い、近隣住民に理解を得ながら経営ができるよう取り組みをしてもらうように要望いたしました。

自由民主党・大阪府議会議員



うらべ走馬 事務所

〒567-0883 大阪府茨木市大手町9-29  
TEL 072-657-8914 FAX 072-657-8915

